

【ご参考資料】

2014年4月24日

4月24日発表のニュージーランドの政策金利の引き上げについて

政策金利を2.75%から3.00%に引き上げ

4月24日、ニュージーランド準備銀行（中央銀行）は、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを0.25%引き上げ、3.00%にすることを決定しました。

同中銀は前回3月の金融政策決定会合と同日に発表した四半期の金融政策報告書で、政策金利を今後2年間で2%引き上げることが必要との見通しを示していたこともあり、市場の予想通り2会合連続の利上げとなりました。

景気拡大によるインフレ圧力の高まりが要因

今回の利上げの背景には、景気拡大を背景とした需給ギャップの縮小によりインフレ圧力が高まっていることがあります。

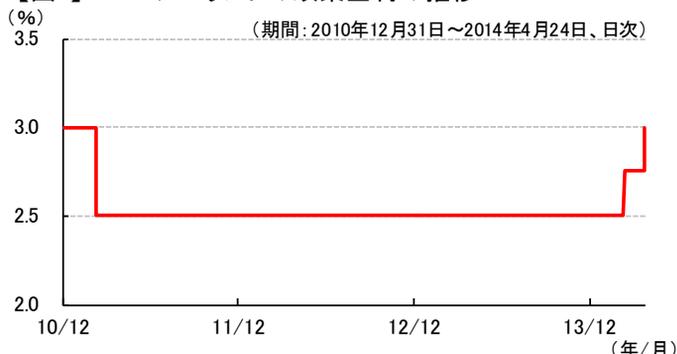
同中銀は今回の金融政策決定会合後の声明で、好調な景気について、輸出品価格が高い水準であること、移民増加や低金利を背景に住宅や消費への需要が高まり、消費者や企業が雇用や投資について強い見通しを持っていることなどを挙げています。また、今年3月までの1年間の経済成長率を3.5%と推計し、前回の金融政策決定会合後の声明で示された3.3%から上方修正しました。

4月24日午前8時頃の東京外国為替市場では、対米ドルで前日比0.2%程度、対円で同0.4%程度のニュージーランドドル高となっています。今回の利上げは既に市場に織り込まれていましたが、他の先進国に先駆けて継続的な利上げ局面に入ったことが、今後もニュージーランドドルを支えると見られています。

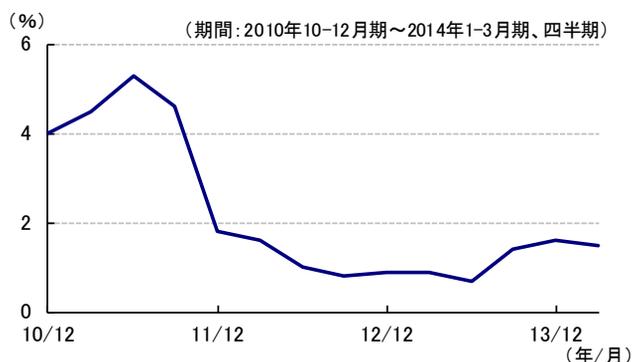
次回の金融政策決定会合は2014年6月12日の予定です。

以上

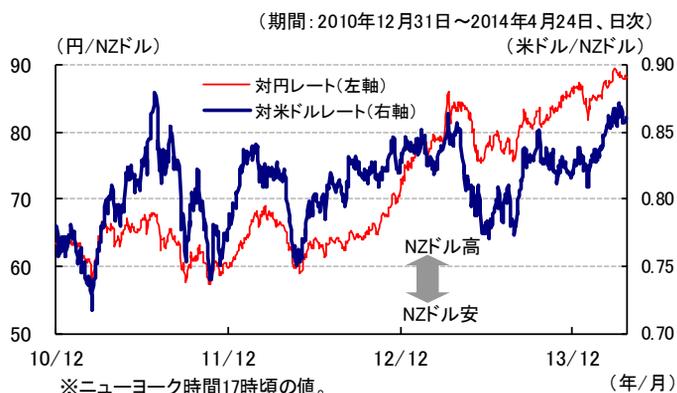
【図1】ニュージーランドの政策金利の推移



【図2】ニュージーランドの消費者物価指数(前年同期比)の推移



【図3】ニュージーランドドルの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成